

# 2024年度 新任・新人薬剤師研修会 — 医薬品情報について —

---

沖縄県薬剤師会 薬事情報委員会

石井 秀典

(とくりん薬局 南風原店)

# 本講義の内容

---

- 医薬品情報とは
- 医薬品情報の入手方法について
- 実際の情報ツールを活用してみよう
- 自分に必要な医薬品情報とは



**情報量は膨大であり、情報の信頼性のみならず、**

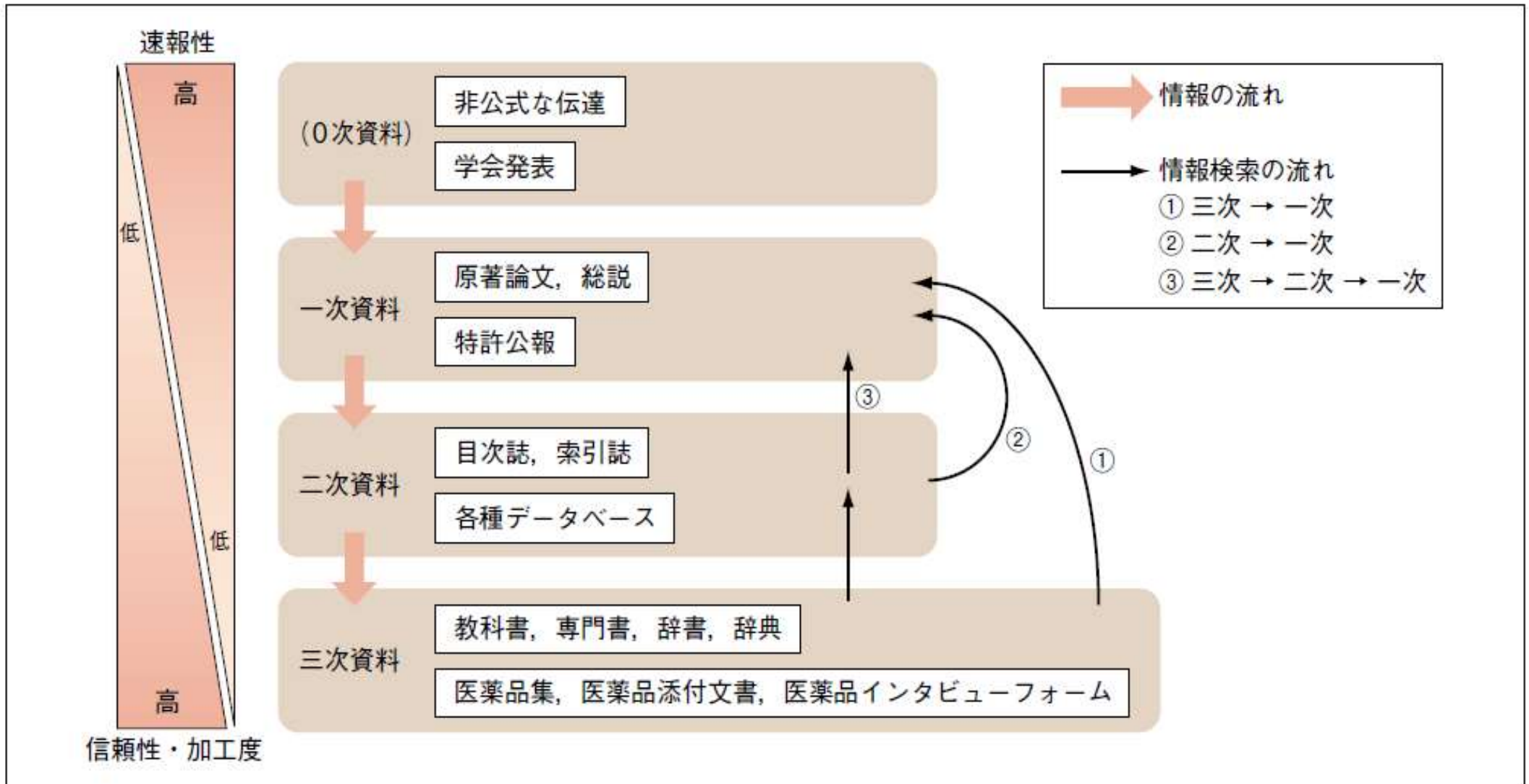
**所属医療機関の特性や情報を適用する患者（または患者集団）  
への情報の適合性や必要性等を勘案して取捨選択し、**

**効率よく収集する必要がある。**

**情報源は信頼性の高いものを選択して使用し、収集した情報は  
専門的評価を行わなければならない。**



# 医薬品情報の分類



# 添付文書

---

- 医薬品情報としては唯一の法的根拠のある公的文書
- 有効性・安全性・品質を確保するために必要な情報を提供する  
基本的手段
- 記載要項によって様式、記載項目などが規定されている

日本標準品分類番号

特許法:  
有効期間:

薬効分類名

一般的名称、基準名又は日本薬局方で定められた名称

規格区分

地方医薬品

販売名  
Name of Product

注) 注一医師等の地方医により使用すること

1. 警告

2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)

3. 組成・性状  
3.1 組成  
表形式

3.2 製剤の性状  
表形式

4. 効能又は効果

5. 効能又は効果に関連する注意

6. 用法及び用量

7. 用法及び用量に関連する注意

8. 重要な基本的注意

9. 特定の背景を有する患者に関する注意  
9.1 合併症・既往歴等のある患者

9.2 腎機能障害患者

9.3 肝機能障害患者

9.4 生殖能を有する者

9.5 妊婦

9.6 授乳婦

9.7 小児等

9.8 高齢者

10. 相互作用  
10.1 併用禁忌 (併用しないこと)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子

10.2 併用注意 (併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子

11. 副作用  
11.1 重大な副作用  
11.1.1 ○○

11.2 その他の副作用

	○%以上	1~○%未満	0.1%未満	頻度不明

※2015年2月改訂(第11版)  
※2014年11月改訂

日本標準品分類番号  
871141

解熱鎮痛剤

カロナル錠 200  
カロナル錠 300  
カロナル錠 500

CALONAL® Tab. 200・300・500  
(アセトアミノフェン錠)

	錠200	錠300	錠500
承認番号	Z1500AMZ00453000	Z1500AMZ00272000	Z2500AMZ01301000
※ 薬価収載	2004年7月	2003年7月	2014年11月
※※ 販売開始	1996年7月	2003年7月	2015年2月
効能追加	2011年1月		

規格区分: 錠500 劇痛  
貯法: 室温保存  
使用期限: 3年(外箱に表示)

【警告】

- 本剤により重篤な肝障害が発現するおそれがあることに注意し、1日総量1500mgを超過高用量で長期投与する場合には、定期的に肝機能等を確認するなど慎重に投与すること。(「2.重要な基本的注意(9)」の項参照)
- 本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。(「2.重要な基本的注意(7)」及び「8.過量投与」の項参照)

【禁忌 (次の患者には投与しないこと)】

- 消化性潰瘍のある患者【症状が悪化するおそれがある。】
- 重篤な血液の異常のある患者【重篤な転帰をとるおそれがある。】
- 重篤な肝障害のある患者【重篤な転帰をとるおそれがある。】
- 重篤な腎障害のある患者【重篤な転帰をとるおそれがある。】
- 重篤な心機能不全のある患者【循環系のバランスが損なわれ、心不全が増悪するおそれがある。】
- 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者【アスピリン喘息の発症にプロスタグランジン合成阻害作用が関与していると考えられる。】

【組成・性状】

販売名	カロナル錠200	カロナル錠300	カロナル錠500
有効成分	(日商)アセトアミノフェン		
1錠中	200mg	300mg	500mg
添 加 物	乳糖水和物、結晶セルロース、部分アルファ化デンプン、ポリビニルアルコール、ステアリン酸マグネシウム	乳糖水和物、結晶セルロース、部分アルファ化デンプン、ポリビニルアルコール、ステアリン酸マグネシウム	ステアリン酸、アルファ化デンプン、ポリビニルアルコール、ステアリン酸マグネシウム

販売名	カロナル錠200	カロナル錠300	カロナル錠500
外形	表面		
	裏面		
	側面		
規格	直径	10.0mm	10.0mm
	厚さ	3.3mm	4.0mm
	重量	300mg	375mg
識別コード	SD112	SD113	SD115

【効能又は効果】

- 下記の疾患並びに症状の鎮痛
  - 頭痛、耳痛、症候性神経痛、腰痛症、筋肉痛、打撲痛、捻挫痛、月経痛、分娩後痛、がんによる疼痛、歯痛、歯科治療後の疼痛、変形性関節症
- 下記疾患の解熱・鎮痛
  - 急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)
- 小児科領域における解熱・鎮痛

【用法及び用量】

効能又は効果(1)の場合  
通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300~1000mgを経口投与し、投与間隔は4~6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として4000mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

効能又は効果(2)の場合  
通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300~500mgを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として1日2回までとし、1日最大1500mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

効能又は効果(3)の場合

# インタビューフォーム(IF)

IFは添付文書等の情報を補完し、薬剤師等の医療従事者にとって  
日常業務に必要な

- 医薬品の品質管理のための情報
- 処方設計のための情報
- 調剤のための情報
- 医薬品の適正使用のための情報
- 薬学的な患者ケアのための情報

等が集約された総合的な個別の医薬品解説書

# インタビューフォームの活用

---

- **薬効薬理の項目では、作用部位・作用機序などの情報が詳細に記載**
- **臨床データパッケージ**
- **安定性試験**
- **特定患者に関する情報**
- **海外での使用状況**
- **輸液容器の予備容量が明示されている**



# インタビューフォーム オススメ活用法

---

インタビューフォームの「**開発の経緯**」に注目！

その薬の薬効はもちろんのこと、何を期待されて開発されてきたか、その薬の製剤特徴など1ページで様々な情報が得られます。

時間あるときや、安定性を調べる機会に見てみてください！

# 例えばエクア錠

## I-1. 開発の経緯

### 作用機序

エクア錠(一般名:ビルダグリプチン)は、インクレチン [消化管ホルモン; グルカゴン様ペプチド-1(glucagon-like peptide-1, GLP-1)など] の分解酵素であるジペプチジルペプチダーゼ-4(dipeptidyl peptidase-4, DPP-4)を選択的、かつ可逆的に阻害することにより血糖降下作用を示す DPP-4 阻害薬で、2 型糖尿病治療薬である。

### 既存治療の課題

2 型糖尿病の治療は、各種経口血糖降下薬の登場に伴い大きな進歩を遂げたが、不十分な血糖コントロール、低血糖・体重増加などの副作用、膵島機能の低下など、今なお未解決の課題も多く残されている。

### 製剤の特性

インクレチンは、血糖依存性のインスリン分泌促進作用及びグルカゴン分泌抑制作用を有し、GLP-1 は非臨床試験において膵 B 細胞量増加作用も確認されている。そのため、インクレチン作用を高める DPP-4 阻害薬は、従来治療の問題点を解決する可能性が期待されている。エクア錠の有効成分であるビルダグリプチンは、1998 年にスイスのノバルティスファーマ社で発見され、その後行われた効力を裏付ける非臨床試験では、糖尿病モデル動物で明確な血糖降下作用が認められた。海外においては、2000 年から臨床開発を開始し、有効性と安全性が確認され、EU、韓国、シンガポールなどで承認されている。

### 承認年月 適応

国内においては、2001 年から臨床開発を開始し、11 の臨床試験において有効性・安全性が確認されたため、2008 年 4 月に承認申請を行い、2010 年 1 月に「食事療法、運動療法のみ、あるいは食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用し十分な効果が得られない場合に限る 2 型糖尿病」を効能又は効果としてエクア錠 50mg が製造販売承認された。

その後、「経口血糖降下薬の臨床評価方法に関するガイドライン (厚生労働省医薬食品局 2010) に従い国内で実施した長期投与試験において、2 型糖尿病患者に既存の経口血糖降下薬とエクア錠を併用投与した場合の安全性及び有効性が確認されたことから、2013 年 2 月に効能又は効果を「2 型糖尿病」とし、エクア錠 50 mg の効能追加が承認された。なお、2020 年 9 月に「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第 14 条第 2 項第 3 号イからハのいずれにも該当しない」との再審査結果が公示された。

# セパミット細粒2%

ニフェジピンはカルシウムイオン拮抗作用を有し、虚血性心疾患用薬および抗高血圧症薬として有用であるが、作用持続時間が短い。

ニフェジピンの作用の持続化および患者の服用遵守を考慮して、1日2回投与で狭心症、高血圧に対して効果を示す持効性製剤セパミット®-R カプセルを開発し、1986年から発売した。

さらに、きめ細かな用量調節が可能であり、錠剤やカプセル剤の服用が困難な患者にも使用できる持効性製剤セパミット®-R 細粒の開発を行った。医療事故防止を目的として、「セパミット®-R 細粒」から「セパミット®-R 細粒 2%」に販売名変更の申請を行い、2007年9月27日に承認を受け、2007年12月21日に薬価基準収載された。

2016年10月にMSD株式会社より製造販売承認を承継し、販売を移管した。

## 2. 製品の治療学的特性

- (1) 作用時間の長いニフェジピンの持効性製剤である。小腸のpHで溶けるニフェジピンの細粒剤であるため朝夕の食後に服用することにより、服薬後の急激な血漿中ニフェジピン濃度の立ち上がりを抑え、12時間後でも血漿中濃度が持続する。(「VII. 薬物動態に関する項目 - 1. 血中濃度の推移 (2) 臨床試験で確認された血中濃度」の項参照)
- (2) 高血圧症、狭心症ともに1日2回の投与ですぐれた効果をもたらす。高血圧症では1日を通じての安定した血圧のコントロールが可能であり、狭心症では夜間及び早朝の発作予防が可能となる。(「V. 治療に関する項目 - 5. 臨床成績」の項参照)
- (3) 重大な副作用として、紅皮症(剥脱性皮膚炎)、無顆粒球症、血小板減少、ショック、意識障害、肝機能障害、黄疸が報告されている。(「VIII. 安全性(使用上の注意等)」に関する項目 - 8. 副作用 (1) 重大な副作用と初期症状」の項参照)

## 3. 製品の製剤学的特性

- (1) カプセル剤や錠剤等の服用が困難な患者にも使用でき、症状経過にあわせたきめ細かな用量の調整が可能である。
- (2) 1日2回投与により、患者に対して服薬の的確な指示が可能となり、効果の確実性を高めることができる。

### III. 有効成分に関する項目

#### 1. 物理化学的性質

##### (1) 外観・性状

黄色の結晶性の粉末で、におい及び味はない。

##### (2) 溶解性

アセトン又はジクロロメタンに溶解やすく、メタノール、エタノール (95) 又は酢酸 (100) にやや溶けにくく、ジエチルエーテルに溶けにくく、水にほとんど溶けない。

	界面活性剤なし	0.30%ポリソルベート 80 添加
溶解度 <sup>2)</sup> (37°C)	pH1.2 : 10 µg/mL pH4.0 : 10 µg/mL pH6.8 : 10 µg/mL 水 : 10 µg/mL	pH1.2 : 57 µg/mL pH4.0 : 65 µg/mL pH6.8 : 45 µg/mL 水 : 59 µg/mL

##### (3) 吸湿性

なし

#### 2. 有効成分の各種条件下における安定性

安定性 <sup>2)</sup>	
水	遮光下、37°C、24 時間まで安定である。
液性 (pH)	遮光下、pH1.2、pH4.0 及び pH6.8、37°C、24 時間まで安定である。
光	400nm 付近より短波長の光に対し不安定であり、26,700lx・hr で約 95% 以上分解する。

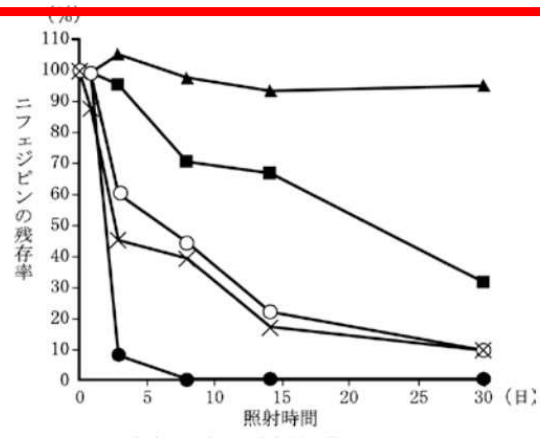
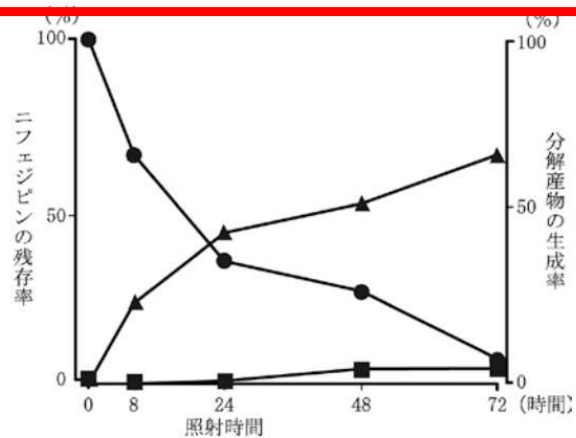
## 6. 製剤の各種条件下における安定性

保存条件	保存形態	保存期間	結果
室温・遮光	未包装	3年	変化なし
40℃・遮光	未包装	6ヵ月	変化なし
40℃・75%RH 遮光	未包装	6ヵ月	変化なし
室温・室内散光	ポリエチレン製 褐色びん	6ヵ月	変化なし

### 〔参考〕 光安定性

セパミット®-R 細粒 2%は蛍光灯照射下 (1,000Lx) で8時間後に約 34%、72時間後に約 90%のニフェジピンが分解される<sup>3)</sup> (図1)。

黒色の遮光袋に保存した場合、30日後にニフェジピンは95.7%以上の残存率であった<sup>3)</sup> (図2)。



規格包装の違いで保存に注意が必要になることも！！



# 緊急安全性情報・安全性速報 (イエローレター・ブルーレター)

重要

2007年3月  
No.06-01

## 緊急安全性情報

### タミフル服用後の異常行動について

抗インフルエンザウイルス剤、タミフルカプセル75、タミフルドライシロップ3%につきましては、今年2月に入り、タミフルを服用したとみられる10代のインフルエンザ患者様が、自宅で療養中、自宅マンションから転落死するという痛ましい事例があったことから、2月28日、厚生労働省は、医療関係者に注意喚起を行ったところです。弊社におきましても、インフルエンザ治療開始後の注意事項についてご説明いただくようお願いして参りました。

しかしながら、3月20日、タミフルの服用後に10代の患者様が2階から転落して骨折したとする症例が2例報告されたことから、本剤の使用に際しましては、特に下記の点に十分注意下さいますようお願い申し上げます。

10歳以上の未成年の患者においては、因果関係は不明であるものの、本剤の服用後に異常行動を発現し、転落等の事故に至った例が報告されている。このため、この年代の患者には、合併症、既往歴等からハイリスク患者と判断される場合を除いては、原則として本剤の使用を差し控えること。

また、小児・未成年者については、万が一の事故を防止するための予防的な対応として、本剤による治療が開始された後は、①異常行動の発現のおそれがあること、②自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間、保護者等は小児・未成年者が一人にならないよう配慮することについて患者・家族に対し説明を行うこと。

なお、インフルエンザ脳症等によっても、同様の症状が現れるとの報告があるので、上記と同様の説明を行うこと。

重要

2015年2月  
14-03号

## 安全性速報

### ラミクタール® 錠小児用2mg、5mg、 ラミクタール® 錠25mg、100mgによる 重篤な皮膚障害について

2014年9月～2014年12月までの約4ヵ月の間に、本剤との因果関係が否定できない重篤な皮膚障害が発現し、死亡に至った症例が4例報告されました。これら4例はいずれも用法・用量が守られていない症例であり、皮膚障害の発現後、重篤化するまで本剤の投与が中止されていない症例でした。そこで、更なる適正使用の徹底を図るべく、本剤の「使用上の注意」の「警告」を改訂することに致しました。

なお、これらの症例を含めて、2008年12月12日の販売開始以降、2015年1月26日までの間に、本剤の投与により、重篤な皮膚障害が発現し死亡に至った症例が16例報告されております（推定使用患者約376,000人<sup>注</sup>）。注）推定使用患者数は販売開始から2014年12月31日まで

本剤の使用にあたっては、以下の点につきましてご留意ください。

#### 用法・用量を遵守してください。

用法・用量を超えて本剤を投与した場合に皮膚障害の発現率が高くなります。

- 投与開始時は定められた用法・用量を超えないこと
- パルプロ酸ナトリウム併用時の投与開始 2週間までは隔日投与にすること（成人のみ）
- 維持用量までの漸増時も定められた用法・用量を超えないこと
- 増量時期を早めないこと

#### 皮膚障害の早期発見、早期治療に努めてください。

- 発疹に加え以下に示す症状があらわれた場合には、重篤な皮膚障害に至ることがあるので、直ちに本剤の投与を中止すること

○発熱(38℃以上)	○眼充血
○口唇・口腔粘膜のびらん	○咽頭痛
○全身倦怠感	○リンパ節腫脹 等

- 処置が遅れると重篤な転帰をたどることがあるので、早い段階で、皮膚科専門医に相談し、適切な処置を行うこと
- 患者又は家族に対して、発疹や上記の症状があらわれた場合には直ちに受診し、医師・薬剤師に本剤を服用している旨を伝えるよう指導すること

# 医薬品リスク管理計画(RMP)

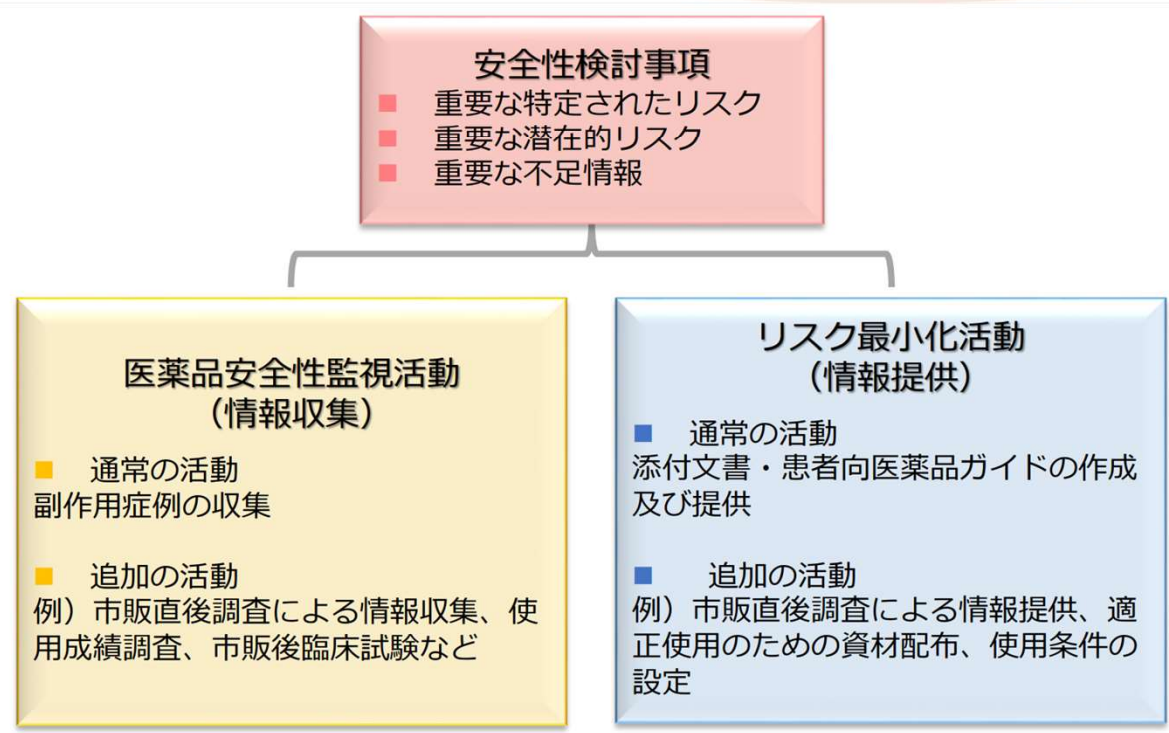
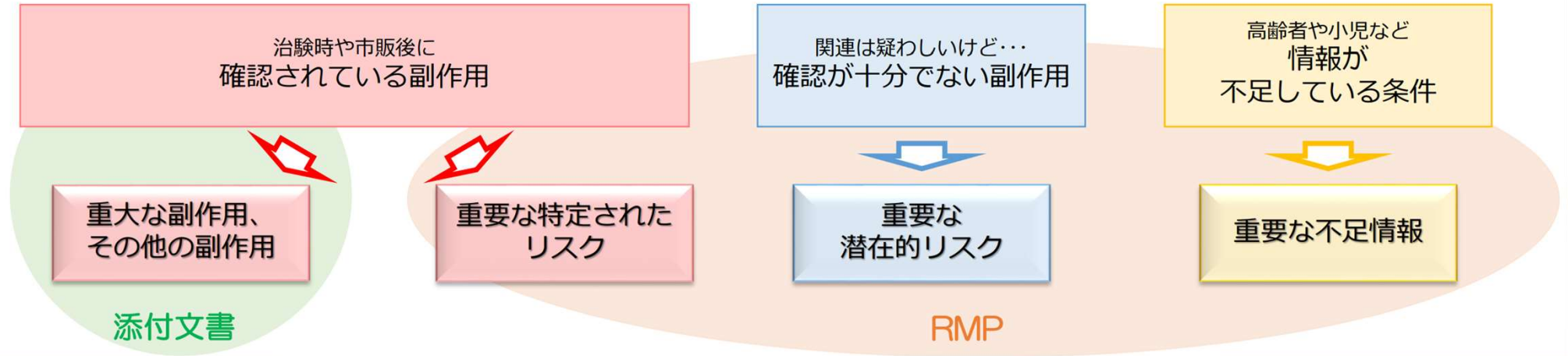
医薬品のリスク(副作用)を最小化することを目的に作られる計画書

医薬品の「開発」「審査」「市販後」まで一貫したリスク管理を、ひとつの文書に分かり易くまとめ、調査・試験やリスクを低減するための取り組みの進捗に合わせて、または、定期的に確実に評価が行われるようにするものです。



治験時の症例数は限られているため、医薬品との因果関係が確認できたリスクもあれば、関連は疑わしいが十分に確認しきれないリスクもあります。また、高齢者や小児など、症例数が少ないために情報不足の条件もあります。

添付文書もRMPもリスクが記載された文書ですが、図のように記載されているリスクの種類が違います。既に確認されたリスクだけでなく、潜在的リスクや不足情報が記載されているのがRMPの特徴の1つです。





ジャディアンス®錠 10 mg・25 mgに係る  
医薬品リスク管理計画書 (RMP) の概要

販売名	ジャディアンス®錠10 mg ジャディアンス®錠25 mg	有効成分	エンパグリフロジン
製造販売業者	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	薬効分類	873969, 87219, 873999
提出年月日		令和6年5月31日	

1.1. 安全性検討事項		
【重要な特定されたリスク】	【重要な潜在的リスク】	【重要な不足情報】
<a href="#">低血糖</a>	<a href="#">腎障害</a>	<a href="#">心血管リスクの高い患者への投与時の安全性</a>
<a href="#">性器感染</a>	<a href="#">骨折</a>	<a href="#">高齢者への投与時の安全性</a>
<a href="#">尿路感染</a>	<a href="#">悪性腫瘍</a>	<a href="#">腎機能障害患者への投与時の安全性</a>
<a href="#">体液量減少に関連する事象</a>	<a href="#">体重減少の安全性への影響</a>	<a href="#">肝機能障害患者への投与時の安全性</a>
<a href="#">多尿・頻尿</a>	<a href="#">下肢切断</a>	
<a href="#">ケトン体増加による影響・ケトアシトシス</a>	<a href="#">膵炎</a>	
1.2. 有効性に関する検討事項		
<a href="#">使用実態下での長期使用における2型糖尿病患者に対する有効性</a>		<a href="#">使用実態下での高齢者における2型糖尿病患者に対する有効性</a>

RMP資材  
による  
情報提供

有害事象  
発生時の  
報告

↓上記に基づく安全性監視のための活動

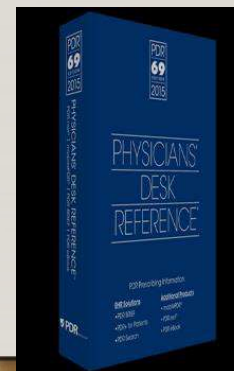
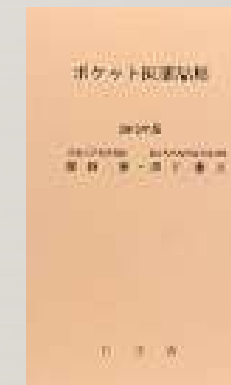
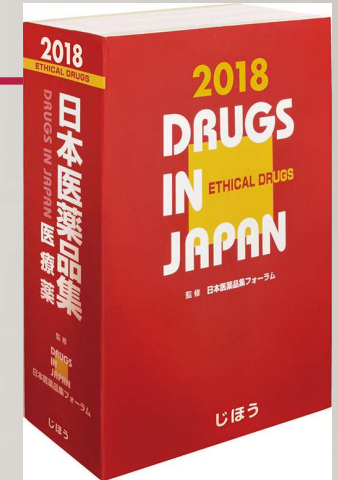
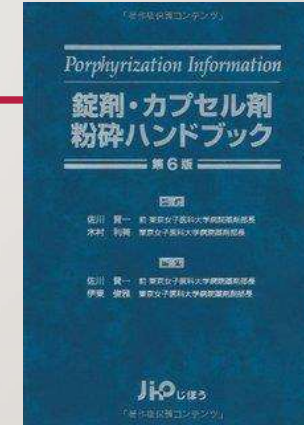
2. 医薬品安全性監視計画の概要
<a href="#">通常の医薬品安全性監視活動</a>
<a href="#">追加の医薬品安全性監視活動</a>
<a href="#">市販直後調査 (慢性腎臓病)</a>
<a href="#">特定使用成績調査 (慢性心不全患者を対象とした長期使用に関する調査)</a>
<a href="#">特定使用成績調査 (慢性腎臓病患者を対象とした長期使用に関する調査)</a>
3. 有効性に関する調査・試験の計画の概要
<a href="#">該当なし</a>

↓上記に基づくリスク最小化のための活動

4. リスク最小化計画の概要
<a href="#">通常のリスク最小化活動</a>
<a href="#">追加のリスク最小化活動</a>
<a href="#">市販直後調査による情報提供 (慢性腎臓病)</a>
<a href="#">医療従事者向け資材 (ジャディアンス錠10mg・25mg 適正使用のお願い) (2型糖尿病) の作成と提供</a>
<a href="#">医療従事者向け資材 (ジャディアンス錠10mg 適正使用のお願い) (慢性心不全) の作成と提供</a>
<a href="#">医療従事者向け資材 (ジャディアンス錠 10mg 適正使用のお願い) (慢性腎臓病) の作成と提供</a>
<a href="#">患者向けの資材 (ジャディアンスを服用される患者さんへ) (効能共通) の作成と提供</a>

# 医薬品集(書籍)

- 日本医薬品集 Drug in Japan
- 今日の治療薬
- ポケット医薬品集
- 医薬品集専用アプリ
- Drugs in Pregnancy and Lactation
- 妊娠と授乳
- 各種ガイドライン
- 薬がみえる



# インターネットサイト

---

- ・ 厚生労働省ホームページ
- ・ PMDAホームページ
- ・ 日本薬剤師会ホームページ
- ・ 日本病院薬剤師会ホームページ
- ・ 医療従事者専用総合サイト  
(SAFE-DI m3.com おくすり110番)
- ・ 海外のサイト / Drugs.com
- ・ 沖縄県薬剤師会ホームページ

# 沖縄県薬剤師会ホームページ(会員ページ)



一般社団法人  
沖縄県薬剤師会  
Okinawa Pharmaceutical Association

[トップページ](#)


[薬剤師会について](#)


[県民の皆様へ](#)


[薬剤師の皆様へ](#)

[お問い合わせ](#)



「緊急安全性情報」及び「安全性速報」について 

緊急避妊薬の調剤に関する情報提供書等について 

オンライン資格確認の導入について 

## カテゴリ

DI資料集 

麻薬・向精神薬  
毒劇物等取扱 

医薬品安全性  
情報関連 

# 海外のお薬がやってきたら・・・

---

沖縄は米軍基地があるという土地柄、海外のお薬を持参してくるケースがたまにあります。

医師から持参薬識別(鑑別)を依頼された時、何を参考にしますか？

# 何の薬だろう・・・

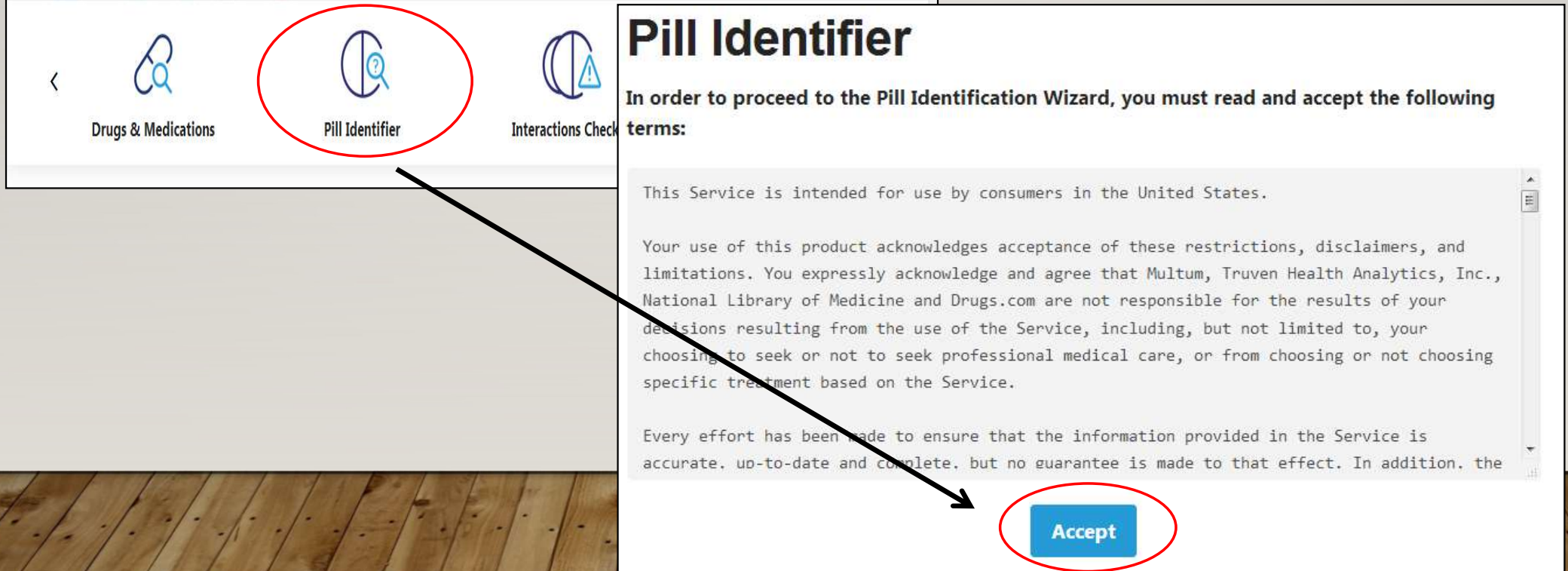
---



# DRUGS.COMを使ってみよう！



The screenshot shows the Drugs.com homepage. At the top left is the logo with the tagline "Know more. Be sure.". To the right are navigation links: "Drugs A-Z", "Pill Identifier", "Interactions Checker", "New Drugs", "Pro Edition", "More", "Register", and "Sign In". The main heading is "Find Drugs & Conditions". Below it is a search bar with the placeholder text "Enter drug name or medical condition, pill imprint, etc." and a magnifying glass icon. Underneath the search bar, it lists "Trending searches: gabapentin, amlodipine, tramadol, lisinopril, prednisone".



This screenshot shows the "Pill Identifier" section of the website. The "Pill Identifier" icon in the navigation bar is circled in red. Below it, the text reads: "In order to proceed to the Pill Identification Wizard, you must read and accept the following terms:". The terms and conditions are displayed in a scrollable text area. At the bottom of this area, the word "Accept" is written in white on a blue button, which is also circled in red. A black arrow points from the circled "Pill Identifier" icon to the circled "Accept" button.

**Pill Identifier**

In order to proceed to the Pill Identification Wizard, you must read and accept the following terms:

This Service is intended for use by consumers in the United States.

Your use of this product acknowledges acceptance of these restrictions, disclaimers, and limitations. You expressly acknowledge and agree that Multum, Truven Health Analytics, Inc., National Library of Medicine and Drugs.com are not responsible for the results of your decisions resulting from the use of the Service, including, but not limited to, your choosing to seek or not to seek professional medical care, or from choosing or not choosing specific treatment based on the Service.

Every effort has been made to ensure that the information provided in the Service is accurate, up-to-date and complete, but no guarantee is made to that effect. In addition, the

**Accept**

錠剤のコードは？

# Pill Identifier

## Search by Imprint, Shape or Color

Use the pill finder to identify medications by visual appearance or medicine name. All fields are optional.

形は？

何色？

Enter imprint

Enter the letters or numbers from your pill

Select color

Select shape

Select shape



Round



Capsule



Oval



Egg



Barrel



Rectangle



3 Sided



4 Sided



5 Sided



6 Sided



7 sided



8 sided



U Shaped



Figure 8



Heart



Kidney



Gear



Character

Search



# Pill Identifier

## Search by Imprint, Shape or Color

Use the pill finder to identify medications by visual appearance or optional.

GP 112

Select color

Round

**Search**

肌色？  
ピンク？  
不明なので特に  
入力せず



Enter the imprint, shape, or color of the pill.  
Example: Round, white, M-N  
HINT: To expand your search, try entering only part of your imprint.

# このお薬ってドーピングになりますか？

---

世界的な大会だけではなく、国体においてもドーピング検査が導入されています。40を超える競技があり、高校生から社会人が出場するため、対象となる人数は多くいることが想像されます。

もしかしたら、患者さんやその家族が国体選手かも？

相談されたらどうしたら・・・？

---

## 日本アンチ・ドーピング機構(JADA)を

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



ご存じですか？


こちらのホームページから調べることができます。

# 日本アンチ・ドーピング機構(JADA)

前のページへ戻ります  
右クリック、または長押しして履歴を表示します

文字サイズ 標準 拡大

? よくあるご質問



アスリート&競技団体の方へ **医療関係の方へ** 教育関係の方へ 一般の方へ 企業関係の方へ

アンチ・ドーピングとは **ルールと規則違反** 事業と活動 JADAについて FAIR PRIDE

## 使用する薬について調べる・相談する

- ▶ 疾患別に注意が必要な治療薬を確認
- ▶ 薬についての問合せ
- ▶ **Global DROで薬をオンラインでチェック**
- ▶ スポーツファーマシストを探す





アスリートの皆さん、自身の薬について確認を！



HOME

サーチ

ヘルプ

よくある質問と回答 (FAQS)

ユーザータイプ

競技者

競技

サッカー

購入国

日本

検索

ビソプロロール

検索

### 成分のステータス

ビソプロロール (Bisoprolol)

他の成分名

ビソプロロールフマル酸塩

#### ステータス

投与経路

投与経路にかかわらず \*

競技会

✓ 禁止されない

競技会外

✓ 禁止されない

\* たとえ投与する物質が禁止物質でなくとも、12時間あたり計100mLを超える静脈内注入およびまたは静脈注射は禁止される。但し、入院、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。詳細。

### オプション

新しい検索

検索 >

PDFを見る

✉ エメールを送付

🗨 質問をする

検索結果



## 検索

ユーザータイプ

競技者

競技

アーチェリー

購入国

日本

検索

ビソプロロール

検索

## 成分のステータス

### ビソプロロール (Bisoprolol)

他の成分名

ビソプロロールフマル酸塩

## オプション

新しい検索

検索 >

### ステータス

投与経路

投与経路にかかわらず \*

競技会

× 禁止

競技会外

× 禁止

\* たとえ投与する物質が禁止物質でなくとも、12時間あたり計100mLを超える静脈内注入および/または静脈注射は禁止される。但し、入院、術、または臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。詳細。

**β 1が遮断されることで心拍数が落ち、落ち着いた状況でプレーすることができます。そのためアーチェリーや射撃、ダーツなどの一部の競技に関してのみ禁止となっています。**

## 禁止

この成分、あるいは、製品には禁止物質が含まれています。

禁止された物質の使用を必要とする病状と診断されたアスリートは、治療目的での禁止物質の使用の承認を求めため治療使用特例(Therapeutic Use Exemption:TUE)の申請をすることができます。詳細は、TUE申請手続きをご確認ください。

また、禁止表上での分類に応じて異なるため、競技会(時)および競技会外ともに成分のステータスを確認してください。詳細はFAQを見てください。

## 競技会(時)

競技者が参加する予定の競技会の前日の真夜中(午後11時59分)に開始され、当該競技会及び競技会に関係する検体採取手続きの終了までの期間

## 局所注射

注射による関節内やその周囲(関節周囲、滑液包、腱周囲や腱内を含み、この限りでない)や他の局所への投与

## 皮下注射

注射による皮下への投与

## 筋肉内注射

注射による筋肉内への投与

## 経口使用(内服)

経口投与—口腔粘膜(例:頬の壁、舌下、歯肉)への使用も含む

## 経直腸(肛門内への使用)

直腸内又は経直腸投与(坐薬、注腸)

## 静脈注射

注射による静脈内への投与

検索

投与

成分

**投与経路によって  
禁止の可否が異なる  
場合もあり!**

# 自分にはどんな医薬品情報が必要？

---

- **自分の職場の特徴を考えてみましょう！**

**病院薬剤師ならば・・・**

- 400床以上の総合病院です
- 精神科中心の病院です
- 産科・婦人科の病院です

**調剤薬局薬剤師ならば・・・**

- 総合病院の門前薬局です
- 小児科クリニックの門前です
- 店舗展開をしている薬局で、複数店舗に応援に行くこともあります



ホーム | 共有すべき事例 | 分析テーマ | 事例から学ぶ | 事例検索 | English

Google 提供



事業のご案内 PDF	参加薬局一覧 	参加の手引き 	参加登録 	事例報告 ログイン 
共有すべき事例 	共有すべき事例 検索 			
報告書 	分析テーマ 	事例から学ぶ 		
年報 	分析表 	本事業は、薬局から報告されたヒヤリ・ハット事例を分析し、提供することにより、医療安全対策の一層の推進を図ることを目的としています。	医療事故情報 収集等事業 (薬局関係) 	

## お知らせ

▼履歴はこちらから

**2023.07.26** **NEW**  
「共有すべき事例」2023年 No.7を公開致しました。 [PDF](#)

**2023.07.13** **NEW**  
2023年6月1日～30日に報告された事例を「事例検索」に公開致しました。

**2023.06.30**  
「共有すべき事例」2023年 No.6を公開致しました。 [PDF](#)

**2023.06.28**  
2023年5月1日～31日に報告された事例を「事例検索」に公開致しました。

**2023.05.31**  
2023年4月1日～30日に報告された事例を「事例検索」に公開致しました。

**2023.05.30**  
「共有すべき事例」2023年 No.5を公開致しました。 [PDF](#)

**2023.04.28**  
2023年3月1日～31日に報告された事例を「事例検索」に公開致しました。

**2023.04.27**  
「共有すべき事例」2023年 No.4を公開致しました。 [PDF](#)

# 本講義のまとめ

---

- **多種多様な医薬品情報の特性を知り、用途に応じて使い分けよう**
- **添付文書、IF、RMPを使いこなそう**
- **信頼できる検索ツールを使いこなして、賢く素早く対応しよう**
- **自分に必要な医薬品情報はどんなものか、あらかじめ把握しておこう**
- **情報は常に更新していこう**

---

**ご清聴ありがとうございました**